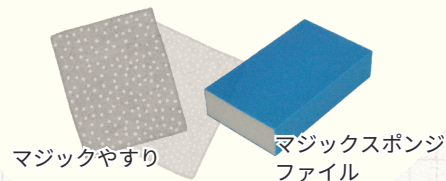


無垢材の床 深いキズの補修

セットになった商品もおすすめ！
マジックテープ式で紙やすりの着脱が簡単。
やすりがしっかり固定されて便利です。
ホームセンターなどで購入できます。



Point 危ないキズに対処しましょう

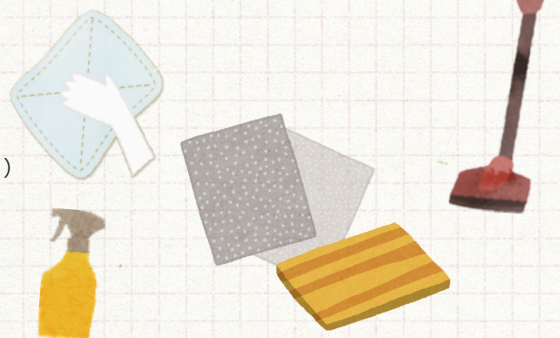
凹みと違い、木の繊維が切れている傷は完全に戻ることはありません。
ケガをしそう、靴下などの衣服が引っかかるなど、
不具合のある場合に行ってください。

Point 削る際は木目に沿って

木目に逆らって削ると、繊維がケバ立ち、バサバサ・ボソボソな仕上がりになります。
ささくれが出来る原因にもなります。

準備するもの

- ・霧吹き
- ・水
- ・ぞうきん
- ・掃除機
- ・軍手
- ・かまぼこ板（板や木片もOK）
- ・紙やすり（120番手程度）



凹み補修のやり方も
参照ください♪



1. 霧吹きでキズに水を含ませ、30分程時間を置き、ぞうきんで水分をふき取ります。
木の繊維が、部分的に盛り上がる場合があります。



2. 木部が完全に乾いた後、キズの深い部分を紙やすりの角で削ります。
その後、周りと馴染ませるよう、辺を使って広い範囲で削ります。
※軍手を着用して作業を行ってください。

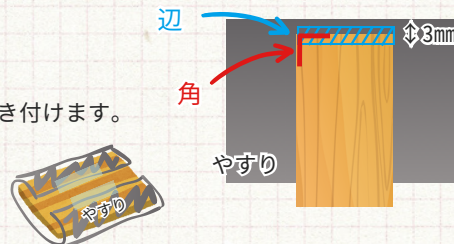


3. 木くずを掃除機で吸い取り、かたく絞ったぞうきんでキズ周辺をふき取ります。手で触って問題ない事を確認し、完了です。

"角"は力がかかりやすく、
"辺"がは均等に削ることができます。

【準備】紙やすりの取り付け

板を紙やすりから3mm程内にセットして巻き付けます。
(貼って固定するとさらに使いやすい。)
やすりの角と辺が使いやすくなります。



- ・やすりをかけた部分は新しい木地が現れるため、周りとの色の違いが目立ちます。
経年で色が少しずつ同調していきますが、必要以上に削らないことをおすすめします。
- ・仕上がりのざらつきが気になる場合は、より目の細かいやすり（240番手程度）で仕上げを行ってください。